

生産技術研究会 事業報告

前川明弘*, 中西晴彦*, 中村 敬*, 谷澤之彦*, 竹中陽登*

Annual Report of the Meeting on Production Technology

Akihiro MAEGAWA, Haruhiko NAKANISHI, Kei NAKAMURA,
Yukihiko TANIZAWA and Akito TAKENAKA

1. はじめに

三重県では、県内ものづくり企業などの技術力向上のため、産学官連携で分野別に研究活動を行う「みえ産学官技術連携研究会」を開催している。

電子機械研究課では、深刻化する人手不足に対応するため、県内ものづくり企業の競争力維持・強化などを目的とした「生産技術研究会（DX 技術活用 WG）」を立ち上げた。主な活動内容について、以下に報告する。

2. 技術調査

主に機械金属製品を製造する県内外の企業 31 社を訪問し、生産技術に関するシーズやニーズ、検討している課題などについてヒアリング調査を行った。企業訪問の際に要望があった課題につい

ては、技術支援（2 件）及び共同研究（2 件）で対応した。

また、同技術に関する情報について広く収集するために、地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター（本部、DX 推進センター）への訪問や、国際ロボット展（東京）、オートモーティブワールド 2026（東京）にも参加した。

3. ニーズ・シーズマッチング会

ロボットや AI などの生産技術の導入により、自社の生産性向上を希望する企業（ニーズ側企業）と、企業現場における課題を解決するための生産技術を提供できる企業（シーズ側企業）を面談させることにより課題解決を試みる「令和 7 年度生産性向上に向けたニーズ・シーズマッチング会」

表 1 令和 7 年度 生産性向上に向けたニーズ・シーズマッチング会の概要

事業名	開催日	場所	内容	参加者数
令和 7 年度 生産性向上に向けた ニーズ・シーズマッ チング会 (事務局：雇用経済 部 新産業振興課)	令和 8 年 2 月 26 日 (木) 10 時から 16 時	工業 研究所	【ニーズ企業者数】4 社 【ニーズの概要】 ・夜勤時における無人搬送&無人検査装置の開発 ・製造工程内での無人検査装置の開発 ・バレル研磨機の製品研磨後の自動選別機開発 ・NC 旋盤への材料装着～製品完成後の取り出し～検査行箱収納 【シーズ企業者数】7 社	22 名

* 電子機械研究課



図 1 面談の様子

を開催した（表 1，図 1 参照）。

ニーズ・シーズマッチング会では，まずニーズ企業を募集し，4 社の応募があった．次に，ニーズ企業の課題を明らかにした後，課題に対応できるシーズ企業を募集し 15 社から応募があった．その後，さらに詳しく課題を説明し，最終的にニーズ企業 4 社に対し，シーズ企業 7 社となり，ニ

ーズ・シーズマッチング会において個別面談を実施した．面談時には，「全国ロボット・地域連携ネットワーク（略称 RING プロジェクト）」のコーディネータも同席し，会が円滑に進むよう助言を行った．

ニーズ・シーズマッチング会開催の結果，すべてのニーズ企業のマッチングが成立し，現場見学などを行いながら，次のステップに進むこととなった．

4. まとめ

今後も本研究会の開催を通して，生産性向上を目指す企業を開拓するとともに，企業ニーズを把握し，企業との共同研究，技術支援につなげる取組を進めたい．

謝辞

ニーズ・シーズマッチング会の遂行に当たり，多大なるご協力をいただきました公益財団法人 三重県産業支援センター北勢支所 北倉康敬 氏に感謝いたします．